



教育目標 やさしく つよく 生きる子ども
 ～ あられる笑顔、かがやく瞳、しなやかな心で光輝く子どもに ～

本園は佐世保市のほぼ中央に位置し、佐世保駅から徒歩で20分の高台にあり、烏帽子岳と佐世保湾を眺めることができる。本園は、昭和26年、初めての市立幼稚園として白南風小学校の校舎内に設置され、以後同敷地内に園舎をかまえて72年になる。平成15年4月には、佐世保市幼児教育センターと併設の新園舎へ改築され、同時に公立幼稚園として初めての3年保育も導入された。3・4・5歳児各1クラスずつの3クラスで、定員85名となっている。白南風小学校とは年間を通し積極的に幼小連携をはかり交流を行っている。特徴の一つに、オープンスペースの保育室がある。1年を通して時期や活動に応じて、可動式の間仕切りで工夫を凝らした保育環境をつくっている。特にオープンにしている時は、全クラスの園児がよくかかわりあって遊んでいる姿がある。また、地域の方を園に招き、昔遊びや折り紙などをして地域の教育力を活かす活動も取り入れている。

※29年度より、預り保育の導入と白南風小学校内に「幼児まどか教室」を開設。

(1)めざす幼児像

- ・あられる笑顔で、いろいろなことを楽しむ子ども
- ・輝く瞳で、のびのびと力いっぱい遊ぶ子ども
- ・しなやかな心で、優しくたくましく素直な子ども

(2)めざす教師像

- ・子ども一人一人を愛し、幼児理解に努める教師
- ・感性豊かに生き生きと活動する教師
- ・研鑽を重ね資質向上に努める教師
- ・家庭や地域社会と積極的な連携を図る教師

(3)めざす幼稚園像

- ・安らぎのあるあたたかな幼稚園
- ・生き生きと躍動感に満ちた幼稚園
- ・家庭、地域に開かれた幼稚園

(4)努力目標

- ・幼児理解に努め、信頼関係を確立する。
- ・一人一人の幼児が輝くための環境づくりを工夫する。
- ・家庭や地域社会との連携を深め、保育活動に生かす。
- ・すべての子どもにとって、より良い教育をめざす。



佐世保市立幼児まどか教室(キンダーまどか)について

(1)設置の基本理念

幼児が集団生活に適応しようとする力を伸ばす。

(2)対象児

佐世保市内在住で主に情緒を中心とした発達に心配のある就学前の幼児

(3)通級教室の目的

対象児の興味や関心を手がかりにしながら、小グループ指導、個別指導等を通して、必要な力が身につけられるよう指導し、所属している乳幼児教育・保育施設の集団の中でも、その子らしさが活かせるように環境を整える一助となり、子どもが自信を持って過ごすことができるようになることを目指す。